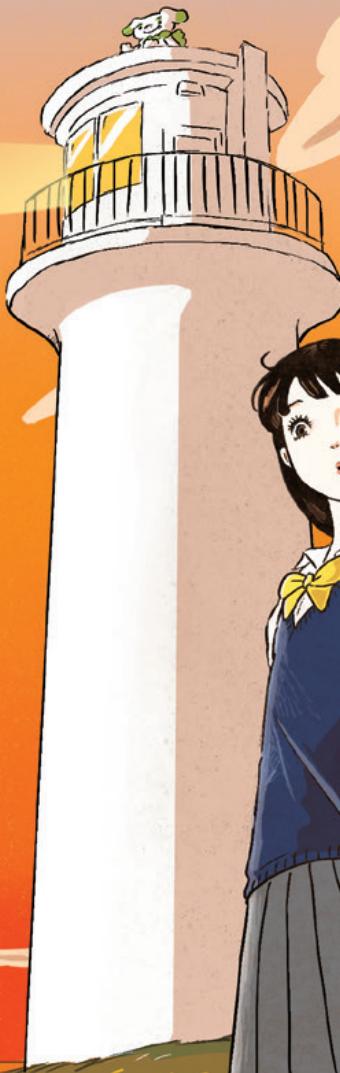


AOYATODAI MONOGATARI

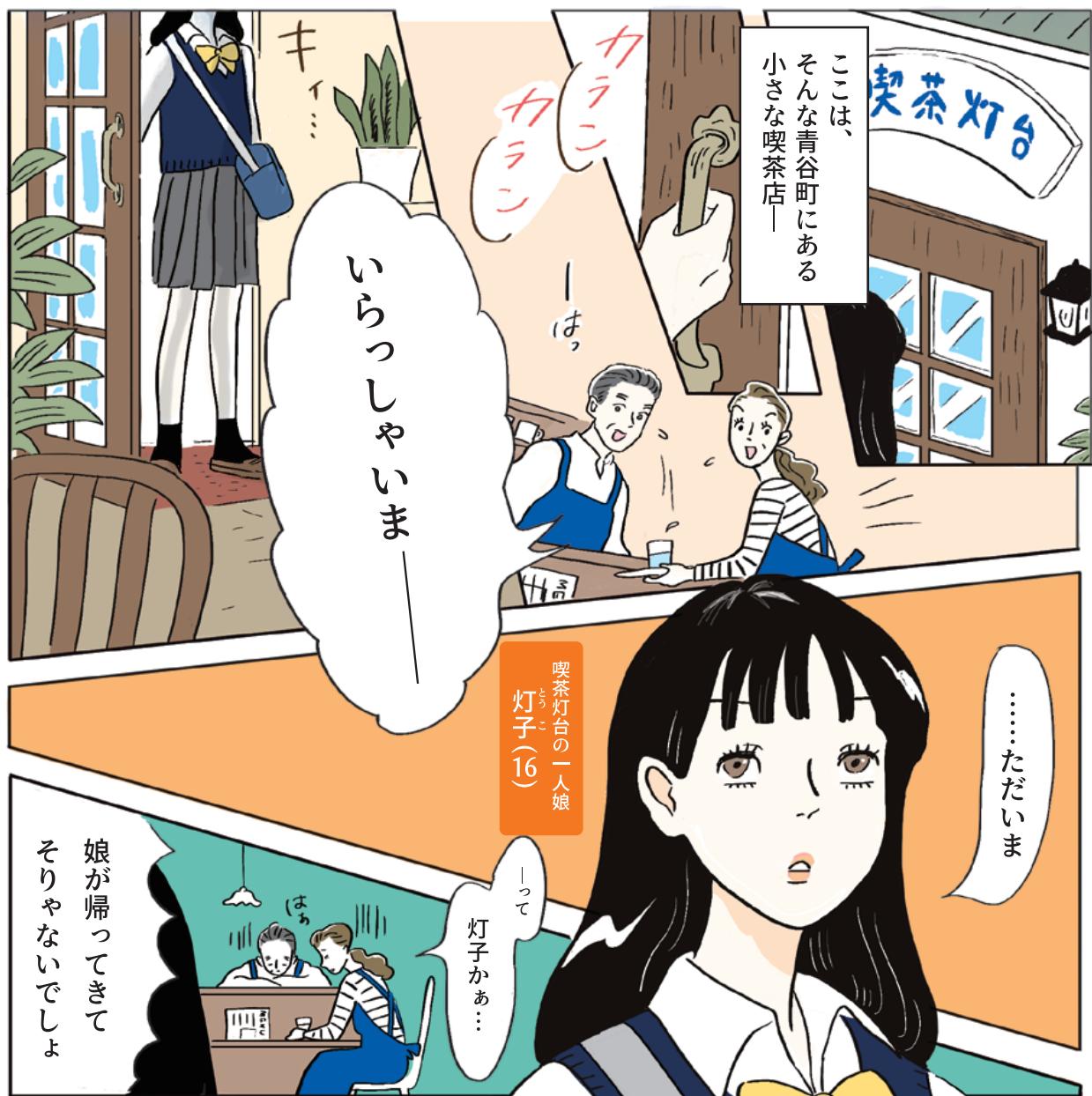
# 青 月 谷 灯 火 物 語。

そこにあつたのは鳥取の海のロマン



鳥取県の真ん中より  
少し東にある  
鳥取市青谷町。

海と山に囲まれた  
人口六千人程の  
のどかな町：



どうやらお店は  
あんまりうまく  
行つてないみたいで…

青谷だけに青いカレー！

「青いカレー」を  
思いついた時は  
いけると思ったた  
んだけどなあ



食いつかれたのは  
最初だけ…



はあ…

青いラーメン

なんてどうだ？！

麵で下面を表現して…



はつ待て…  
いいこと思ついた  
かもしれん！

考えろつて  
言つたつてなあ…

もつと色々  
考えなよ！

ため息  
ばっかり…

もう、お店始めるの  
二人の夢だつたん  
でしょ！？

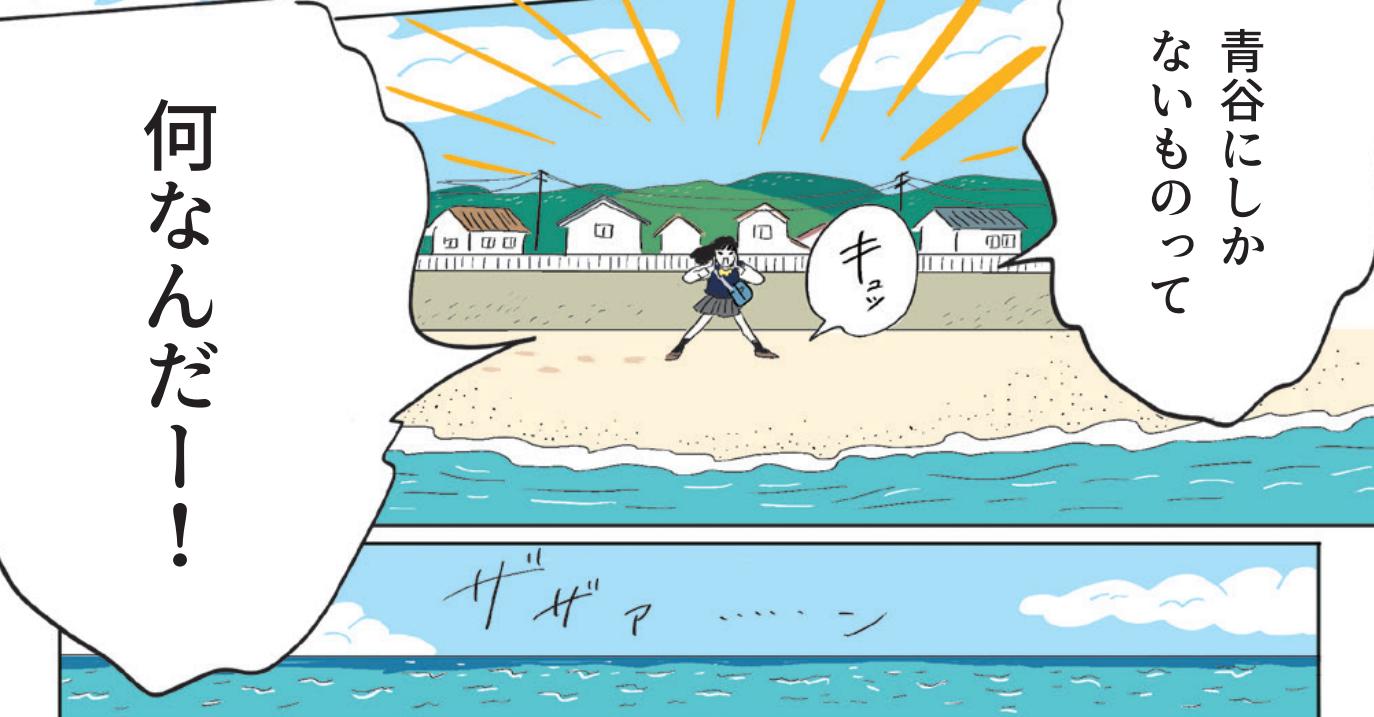
我が家ながら  
アイデアが  
安直というか…

家族会議も虚しく  
空回りばかり  
している模様…

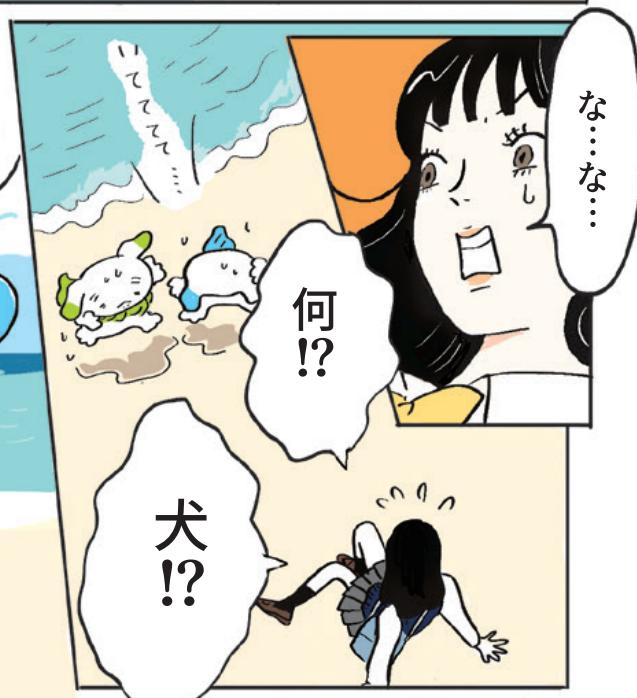


はあ

キュッ  
キュッ  
キュッ



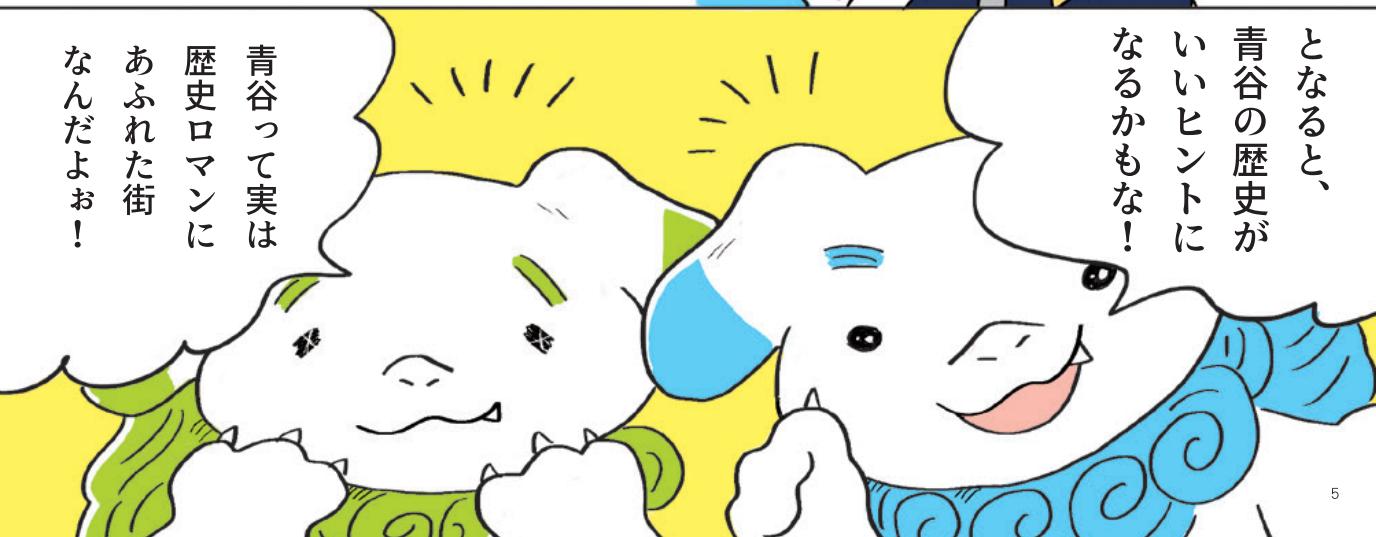
うわーーーーー！？

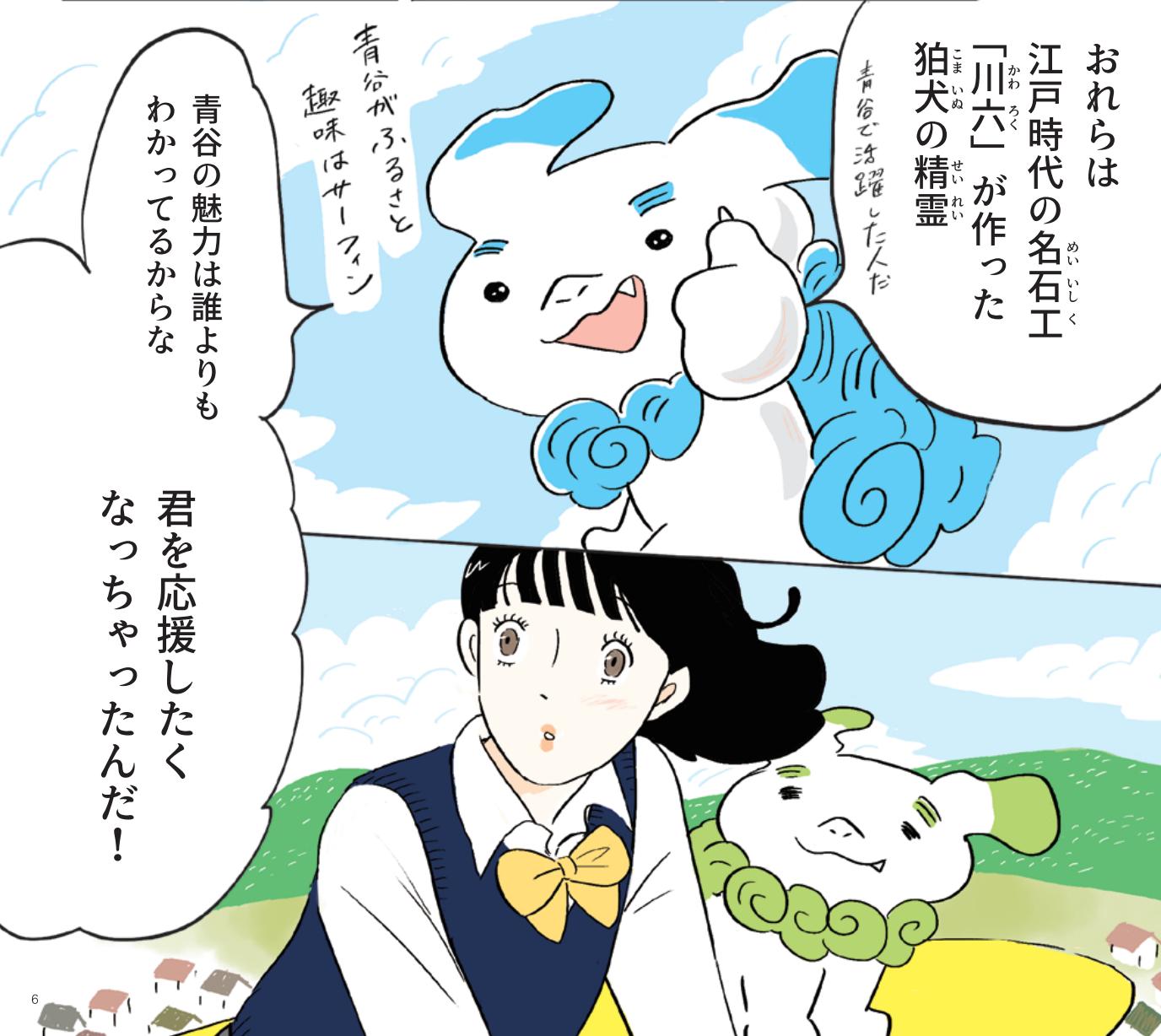
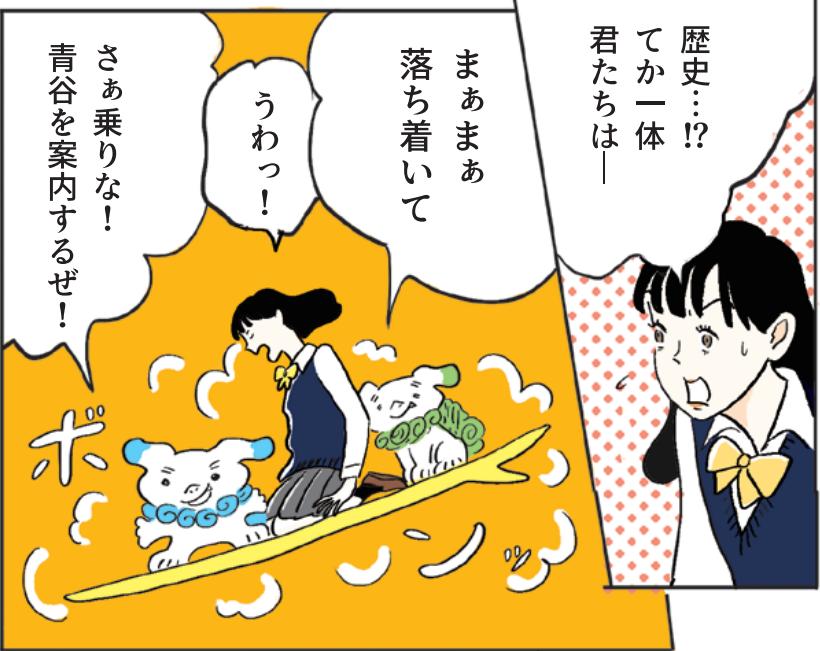


君が鳴らす  
「鳴り砂」の音に  
呼ばれてやつて  
きたよ！

こ、  
狛犬!?

\*きれいな海 石英のきれいな砂 青谷町には全国有数の鳴り砂の浜がある。  
ながが鳴る砂 青谷町には全国有数の鳴り砂の浜がある。  
YouTube 海の教室 烏取 鳴り砂





青谷は  
大むかしから海と  
密接に関わってきた  
町なんだ

## 特にあの「長尾鼻」



青谷にしかない  
歴史?  
そんなのあるの?

長尾鼻…  
存在は知らなかった…

「長尾鼻」「弥生時代」「港町」  
この3つがポイントだよ

へつ  
!?

よーし  
早速その時の  
様子をみてみよう!

青谷にしかない  
歴史?  
そんなのあるの?

あ、あれ  
ここは……?

あの岬があることで  
青谷にしかない歴史が  
生まれたんだ

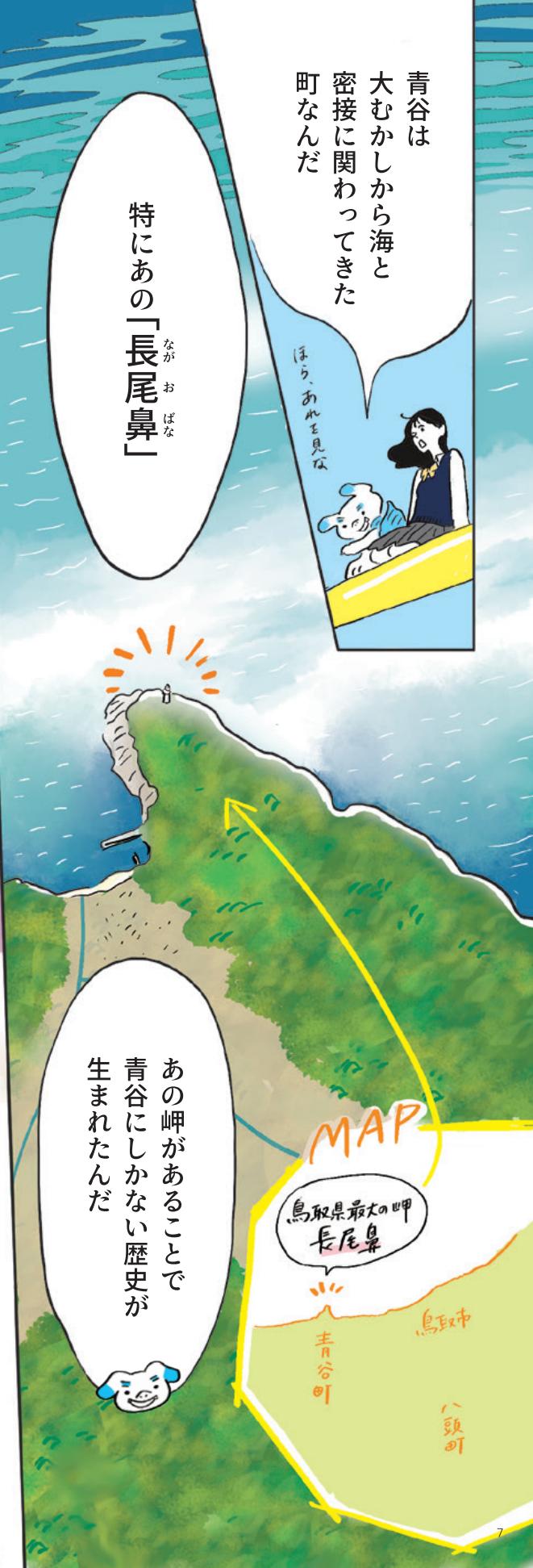
鳥取県最大の岬  
**長尾鼻**

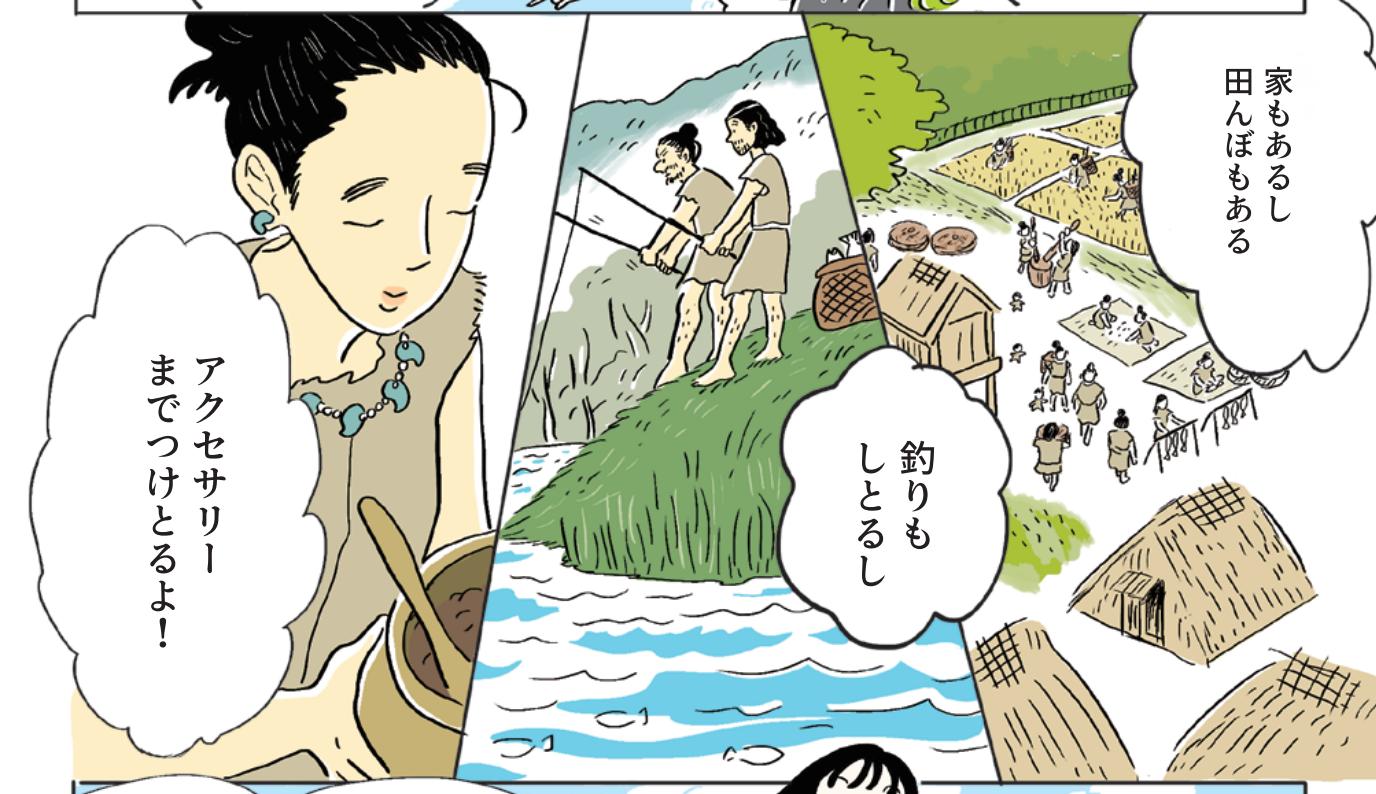
青谷町

鳥取市

八頭町

MAP





そう、このころ青谷は山陰地方を代表する港町だつたんだ

岩場が多く魚や貝が豊富だた  
渡来人も来たり  
中古や朝鮮半島とも交流があつたんだ

すでにお米も作つていたし、漁業も始まつて

青谷が港として栄えたのは

長尾鼻の存在があつたのも大きいんだぜ

海から見るととんがつて見えるから、自然とここが目印になつて港の入り口になつたんだ

長尾鼻↓

へえ～！

とつくづく

新しい文化や技術が伝わって、青谷は栄えて行つたんだ

たくさんの人やものが集まり、行き交う中で

その証拠に  
「青谷上寺地遺跡」

地下の弥生博物館と  
言われるくらい、  
たくさんのが  
発掘された！

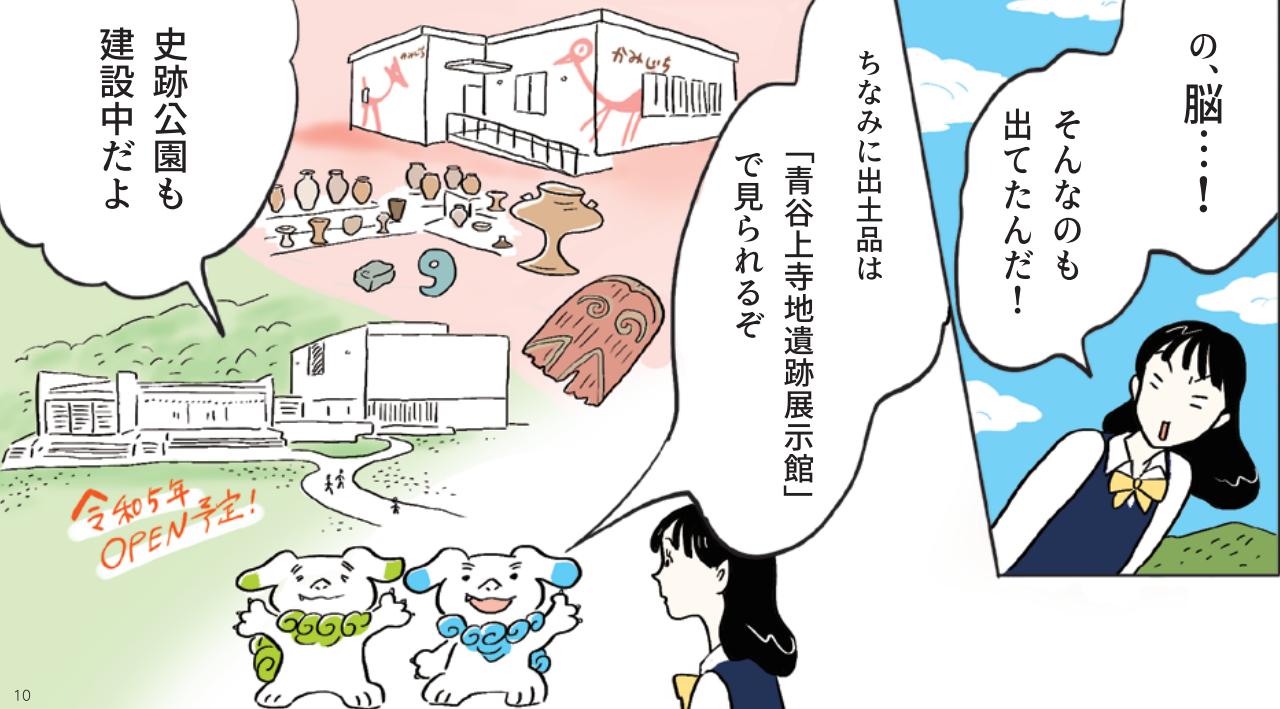


出土品の中でも特に  
びっくりなのは、  
『弥生人の脳』！

日本最古の脳が  
3点も見つかったんだ



史跡公園も  
建設中だよ



全国的に見ても  
弥生時代には  
最先端の文化が

これはなんかいい  
ヒントになるかも!!

すごい、  
青谷って実は  
すごいじやん！

青谷に  
あつたって  
ことだね

明治時代まで  
続いたんだ

この港町  
としての  
活気は

MAP

勝部川

長屋島

青谷海岸

夏泊海岸

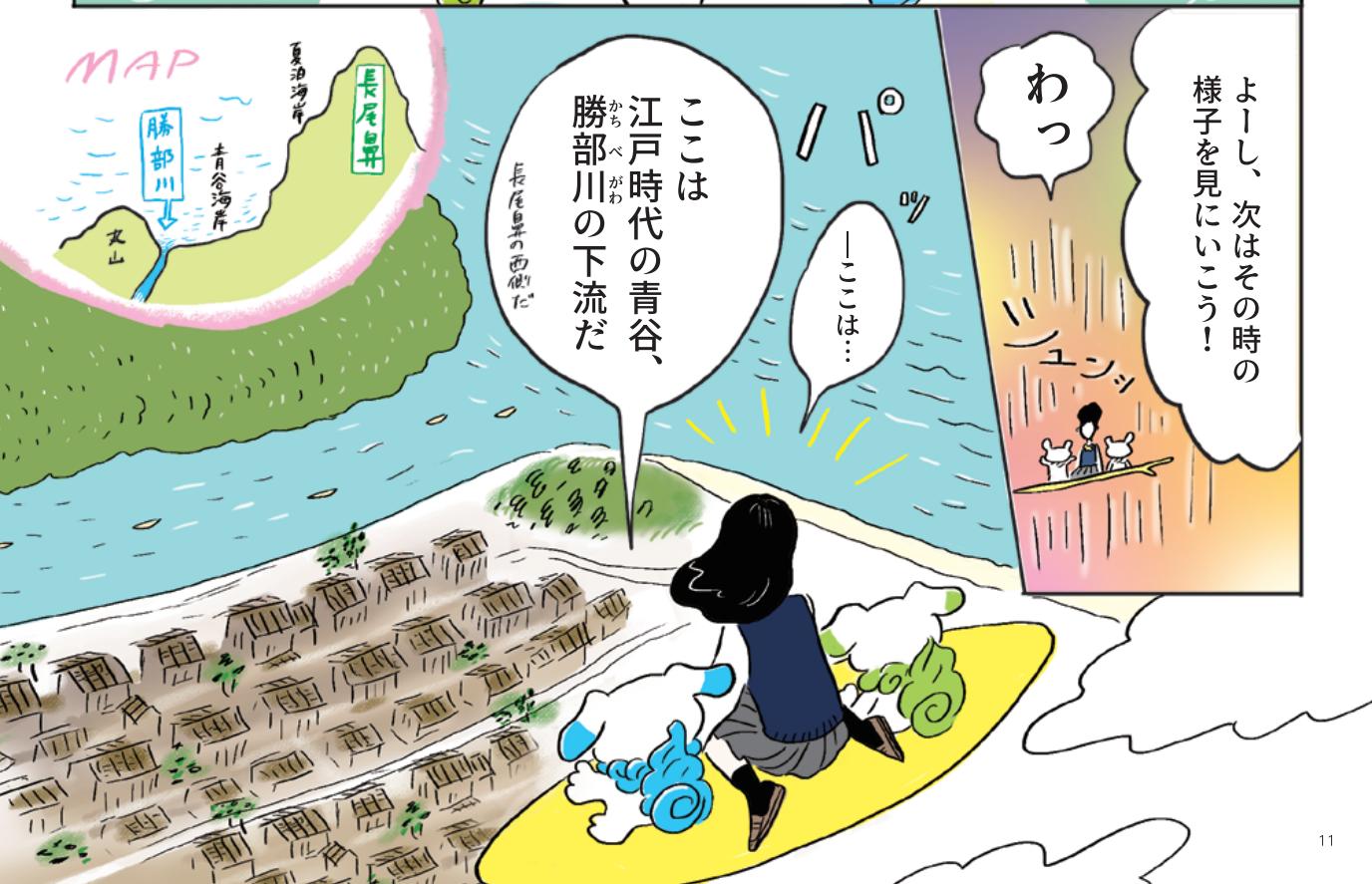
文山

江戸時代の青谷、  
勝部川の下流だ

ここは  
ここは...  
わっ

ハ  
ユンシ

よーし、次はその時の  
様子を見にいこう！



ワイワイ

え、待つて  
すごいにぎわい！  
本当に青谷な？

船がたくさん！

全国から？！

いろんなものが  
集まってきてたんだぜ

このころ青谷は  
港町として  
全国各地から

北前船？

わわ!?あの  
おつきい船は  
何!?

あれは  
「北前船」だ

青谷はその  
寄港地の一つ  
だったんだ

日本遺産として  
認定!

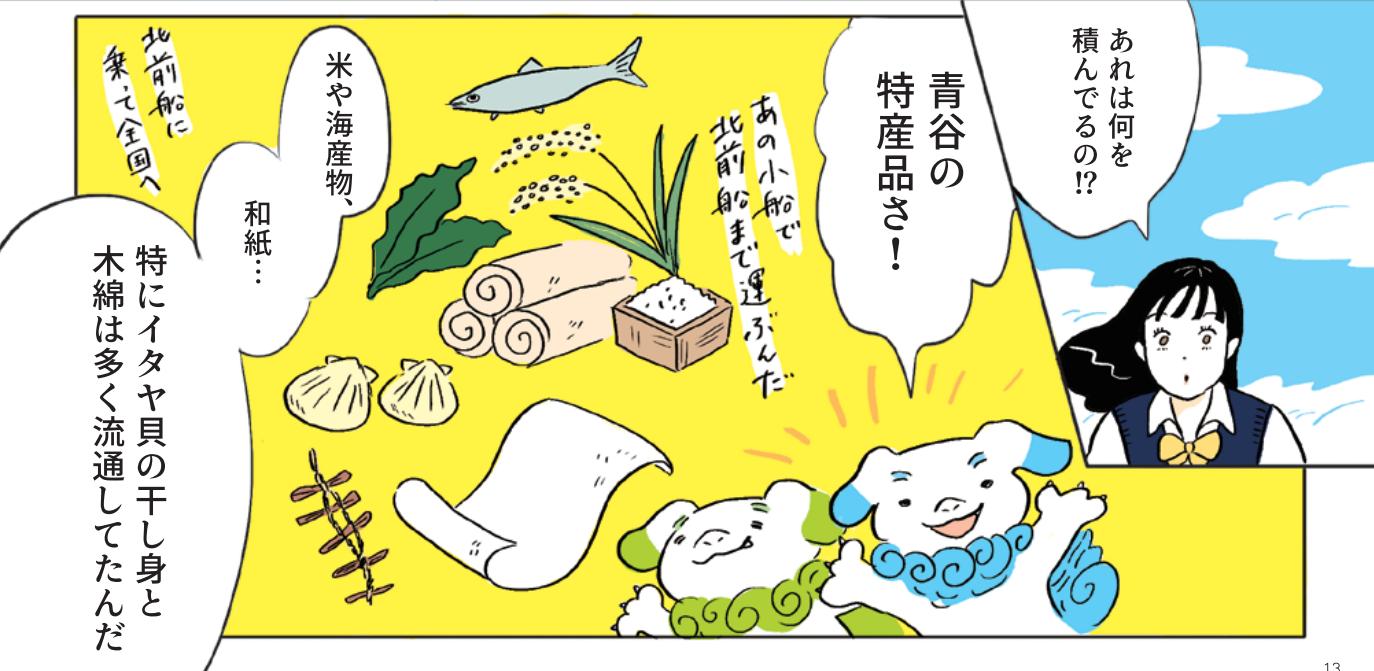
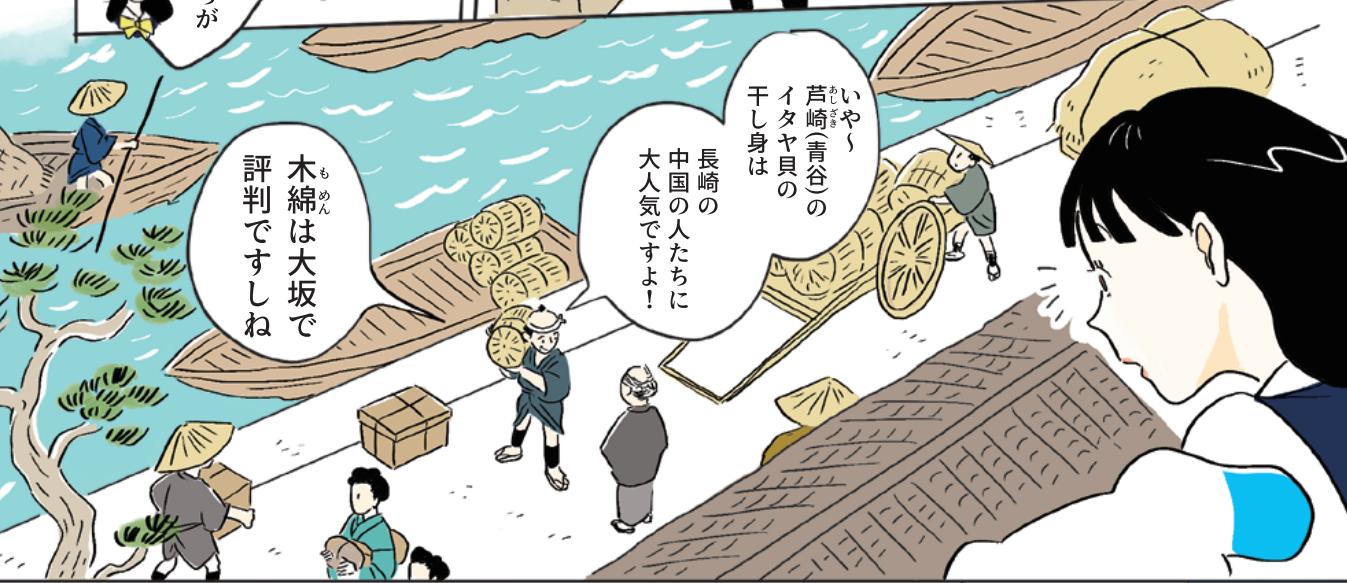
鳥取・青谷

動く総合商社とも  
言われる  
**北前船**

江戸時代から  
明治時代にかけて、  
北海道と  
大阪(大阪)を  
行き来しながら  
商売する船の  
ことだ

ちなみに  
一回で得る利益は  
今の価値で1億円ほど  
だつたらしい

# 1億！



ちなみに  
鳥取でおなじみの  
「貝がら節」は

今も残る  
港町の面影…

この頃行われていた  
イタヤ貝漁（貝がら漁）で  
漁師たちが唄つていたものなんだ

和紙の伝統は  
今も続いてて  
「あおや和紙工房」  
ではその歴史を  
学べるよ

紙すき体験も  
できるよ

港町に  
北前船…  
これも青谷  
ならではだ！

現代

ふー危ない危ない

シュツ  
川

江戸時代のことが今にも  
つながってるんだ!!

やっ  
やばい！

消えたり  
気のせりか？

あ  
い  
な  
ん  
だ  
あ  
れ  
は

すご  
いよ

青谷にこんな  
歴史があつた  
なんて！

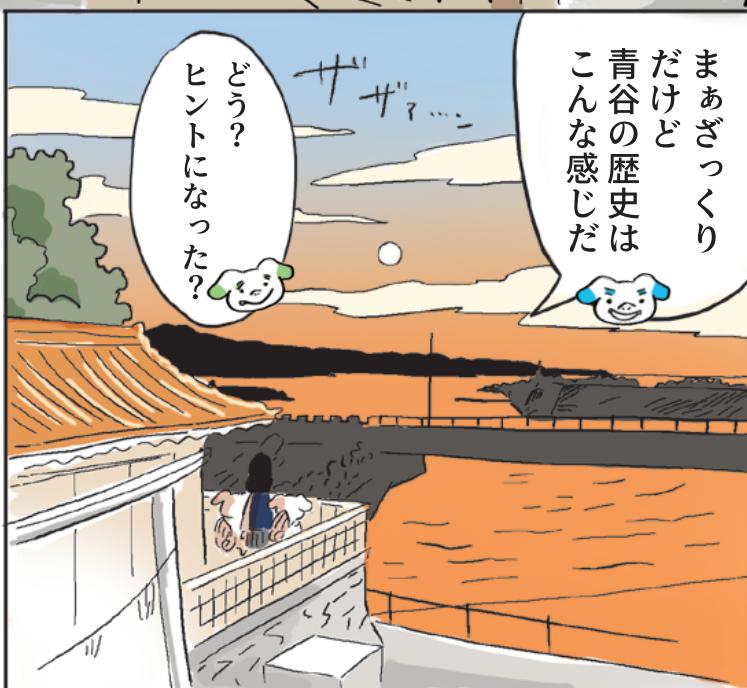
豊かな海があつた  
からこそだね



何気なくあるものも、  
歴史と関わってるんだよ



そう、おれたちが  
宿ってる狛犬だぜ！



まあざつくり  
だけど  
青谷の歴史は  
こんな感じだ



うん…なんかいい  
アイデアが浮かんで  
きそう！

よーし、それじゃ  
最後にとつておきの  
ところに連れてつて  
あげる！

それは  
よかつた

え

わ、

おれたちの  
お気に入りの  
場所さ

ここは…

あ

長尾鼻にある  
「長尾鼻灯台」だよ

\*実際は海上保安庁の  
許可がいります

…わつ

きつ…

きれい…！



長尾鼻灯台は  
昭和2年に点灯し始めて、

それからずーっと  
光を届け続けているんだ



太古のむかしから  
今に至るまで、

長尾鼻はこの地を見守り、  
海と陸をつなげてきた…

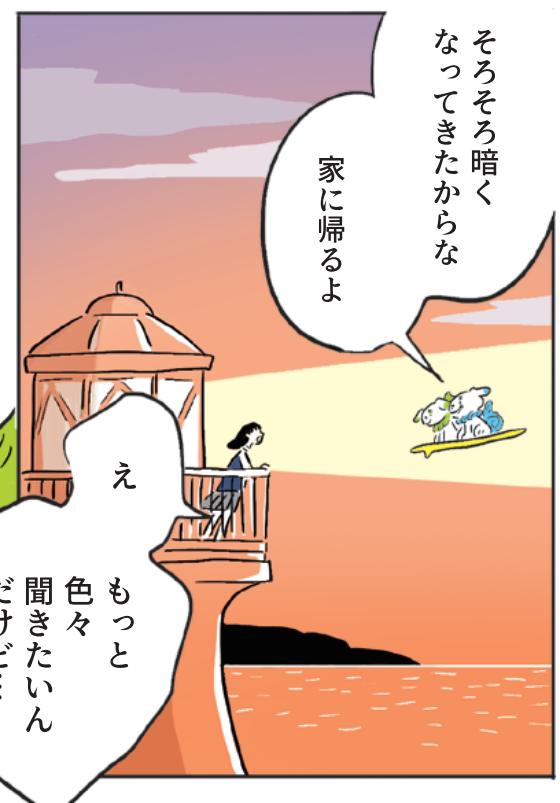
それが  
青谷なんだ

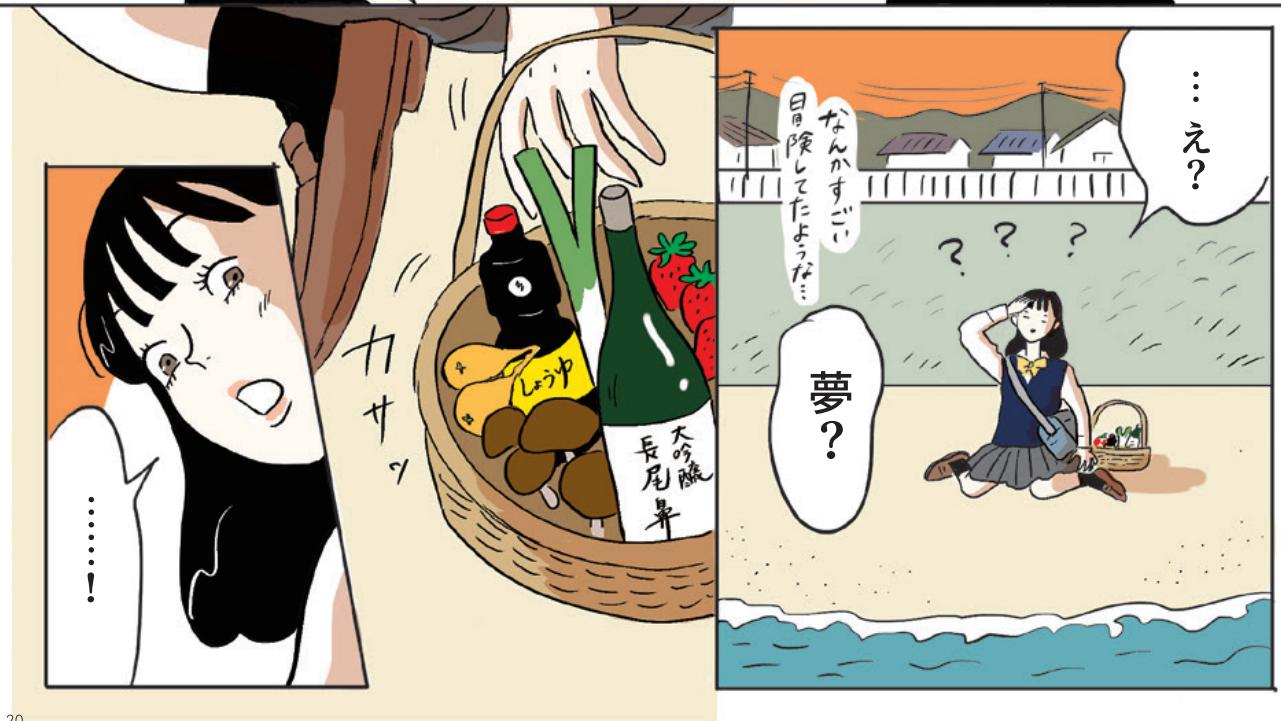
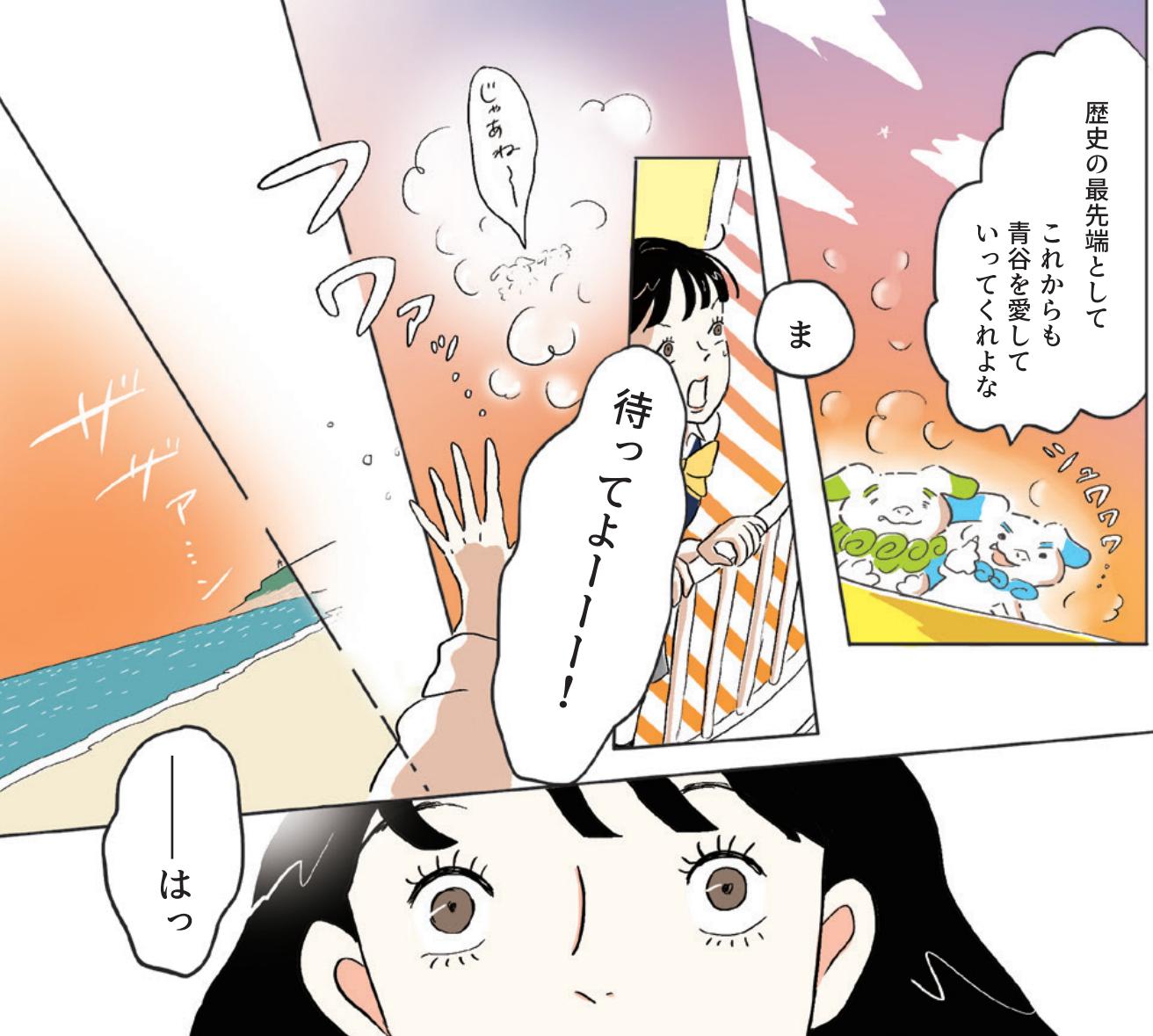
海とともに  
生きてきた町ー

だけえ海とか川を  
たどつたら  
自然と歴史が  
見えてくるんだ！

海とともに…

確かに、  
ロマンあるかも…





—灯子がみたのは  
夢か幻か…



歴史を知ると

いつもの町が  
以前に増して輝いて  
見えるのでした



そして—

考えて  
みました！

お店の新しい  
コンセプト



その後、  
灯子は熱心に青谷を  
散策・調査するようにな

子守神社

ズバリ、テーマは  
青谷のロマン！

ようこそ  
喫茶灯台へ！

今日も灯台は  
歴史を灯す

「……は、  
海とロマンの街、  
青谷…

—みたいな  
感じどう!?

め  
めちやくちや  
いいがな!!



いらっしゃいませー！

ここにしかない  
海のロマンを求めてー

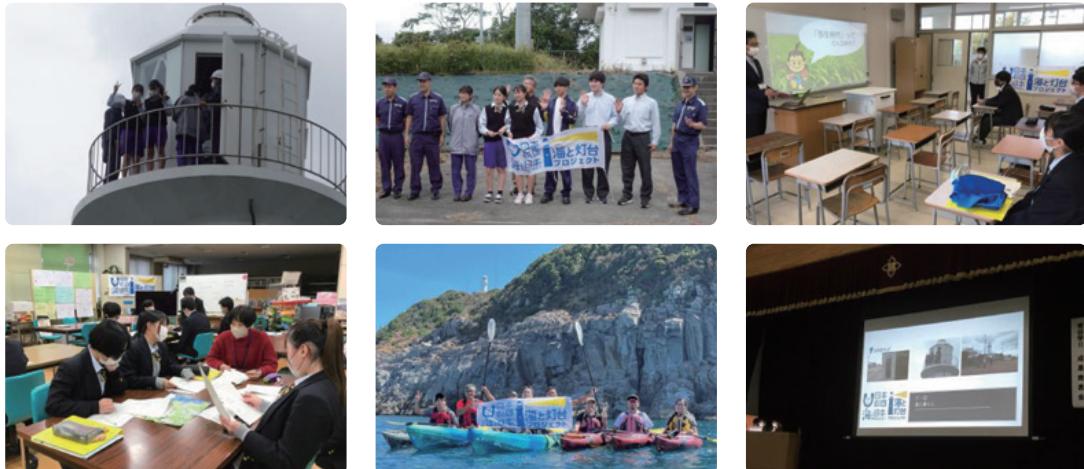


## そこにあったのは鳥取の海のロマン 青谷灯台物語

鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会は、「新たな灯台利活用モデル事業」(一般社団法人海洋文化創造フォーラム)の採択を受け、「青谷長尾鼻灯台利活用八良い(弥生)事業」を実施しています。

このマンガは、本事業において、鳥取県立青谷高等学校との連携により作成したものです。地域の海とのかかわりの歴史や長尾鼻灯台について学ぶ授業を実施し、海と灯台の魅力や価値について、イラストレーターの伊吹春香さんとともにシナリオを作り、マンガを作成しました。

「青谷長尾鼻灯台利活用八良い(弥生)事業」は、新たな海洋体験を創造していく「海と灯台プロジェクト」の一環です。



\*詳しい内容は、YouTube「海と日本 長尾鼻灯台」で検索

### 「海と灯台プロジェクト」とは?

人と海は、時間的にも空間的な意味においても「灯台」を境に関わってきました。航路標識として、従来の船舶交通の安全を担うという重要な役割から広がりつつある灯台。その存在意義について考え、灯台を中心に地域の海の記憶を掘り起こし、地域と地域、異分野と異業種、日本と世界をつなぎ、新たな海洋体験を創造していくプロジェクトです。海と灯台プロジェクトは、日本財團「海と日本プロジェクト」の一環です。



### 海の安全を守ってきた「長尾鼻灯台」

長尾鼻灯台は、鳥取市青谷町の長尾鼻に立つ灯台。設置当初(昭和2年)は、簡易な柱の上に光が灯されていましたが、戦後まもない昭和28年にコンクリート造りの立派な灯台になりました。なお、昭和44年までは灯台に宿舎があり職員・家族が居住していました。無人となった現在も、沖行く船の安全を見守り続けています。



海上保安庁 境海上保安部 次長 平山浩 作

### 港町として栄えた青谷

青谷の勝部川河口には、江戸時代から明治時代にかけて芦崎湊と呼ばれた天然の港があり、たくさんの廻船が往来しました。川岸には廻船問屋が建ち並び、港町として大いにぎわいました。  
現在も、船主集落の町割りや、廻船の積み荷を運んだ「津出し路地」が残っています。河口近くにある湊神社(元湊八幡宮)には、いずれも当時の廻船問屋などが寄進した石灯ろうやこま犬、廻船(北前船)の模型などが残されています。これらの中には、寛政13年(1801)に赤間関(今の下関市)の商人が廻船(北前船)で運び寄進したこま犬があります。



撮影 松原雅彦

Credit 

- 主 催 ..... 鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会
- 共 催 ..... 日本財団 海と日本 PROJECT  
海洋文化創造フォーラム
- 運 営 ..... 鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会(委員長 岸本雄司)
- 運営協力 ..... 日本海テレビ
- 調査協力 ..... 鳥取県立青谷高等学校
- 原案・調査 ..... 青谷学 II 文学・歴史  
久野 忍 倉繁健太 幸山 萌 古川 夢 森田愛結美 井口日翔  
担当教諭 奥田政治

#### Special Thanks

- 長尾鼻灯台調査 ..... 海上保安庁境海上保安部 次長 平山 浩
- 現場整備 ..... 青谷町磯釣り組合
- ドローンで灯台を見よう ..... 株式会社 skyer 宇佐美孝太 松岡飛鳥
- 海から灯台を見よう ..... 鳥取県自然体験塾 長谷川浩二
- 青谷と弥生文化と長尾鼻灯台 ..... 鳥取県とっとり弥生の王国推進課 濱田竜彦

- 
- 監 修 ..... 鳥取市青谷町総合支所地域振興課 松原雅彦
  - ディレクター ..... 竹之内淳
  - 企画・プロデュース ..... 仲子宏明(日本海テレビ)
  - 編 集 ..... パニラ
  - 漫 画 ..... 伊吹春香



今回ストーリー作成から作画まで担当させて頂き、自分自身も青谷の歴史を楽しく学ぶことが出来ました。  
実をいうと、ずっと鳥取に住んでいるのに長尾鼻灯台の存在を知りませんでした。また、実際に青谷の町を回ってみて、  
こんなに絶景がたくさんあったのか…と新しい発見がたくさんでした。(この感動は夕焼けのページに込めました。)  
この漫画を通して長尾鼻灯台の魅力がもっと広まっていってくれたら嬉しいです！

# 令和5年度OPEN！青谷かみじち史跡公園

令和5年度には「青谷かみじち史跡公園」がオープン！「とっとり弥生の王国」に新たな魅力が誕生します。

国内屈指の弥生時代遺跡“青谷上寺地遺跡”をぜひ体感してください。

- 重要文化財棟で、“弥生の美”を満喫。
- 展示ガイダンス施設で、青谷上寺地遺跡を知り、弥生時代に詳しくなろう！
- 弥生時代の地形を再現。広々とした公園をゆったりと散策しよう！

**展示**



**ガイダンス棟**

**“弥生の里めぐりが楽しめる！”**

【海の民】、「ものづくりの匠」たちが暮らしていた  
青谷上寺地の世界観を体感！



**重要文化財棟**

**鑑賞！“弥生の美”**

青谷の弥生人が造り出した弥生時代の最高傑作。  
国の重要文化財に指定された出土品をじっくり  
御覧いただけます。

音声解説の導入など、多くの方々に  
楽しんでいただける展示を目指しています。



**施設**

**○体験学習室（最大90人利用可能）**

- 日常的なお手軽弥生体験のほか、ものづくり体験、歴史講座など弥生文化に関する様々なプログラムを行います。
- 学校活動、地域活動等にも利用いただけます。



**○その他設備**

- 駐車場（一般31台、車いす・ハートフル各2台）  
別途第2駐車場あり（大型バス6台、普通車20台）

障がいのある方への対応など、バリアフリーに配慮した施設整備を行います。



## 青谷の街で味わえる「弥生グルメ」

青谷弥生人が食べていた食材（古代米、鳥獣肉、木の実など）を用いた青谷でしか味わえないグルメがたくさん。ぜひ一度ご賞味下さい！



カリッとサクッと弥生のスイーツ

HABU ICE

発掘する楽しさいっぱいのパフェ

青谷上寺地遺跡の土産菓子

弥生入りのやうやくあんこバターチョコ

弥生時代に想いを馳せて召上がり



古代米、鳥獣肉、木の実など  
青谷の里めぐりで味わう！

青谷の里めぐりパフェ

青谷の里めぐりパフェ

青谷の里めぐりパフェ

青谷の里めぐりパフェ



出土品がモチーフの米粉クッキー

青谷の里めぐりパン

青谷の里めぐりパン

青谷の里めぐりパン



青谷町観光協会HP

